

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

社員に真心を尽くせば社員は返してくれる 塚越寛（伊那食品工業最高顧問）

- 1977年、脱水用の五百キロの重しが落下して女性社員が重傷を負う事故がありました。この後、私は最新の脱水装置を設置することを決めました。それには莫大な投資が必要で、万一、経営が破綻することもあり得たのですが、社員が怪我をしてしまう環境で事業を続けても会社として存続する意味はないというのが私の考えでした。結果的に非常に安全で衛生的な環境に生まれ変わりました。
- 社員たちは「会社はここまでして自分たちのことを考えているのか」ととても喜んでくれました。それで、社員のモチベーションは一気に上がり、生産性、業績ともに高まっていきました。目先の利益ではなく、社員の安全や健康を第一に考えたことが今日の発展につながったのです。
- 運を呼ぶ人はどこかで必ず努力しています。些細なことでも、ある人に親切にしたらその人がとんでもない大物で、縁が大きく広がったということが現実にあるわけです。私には誰かに尽くせば、どこかで返ってくるという信念があります。社員に真心を尽くしておけば社員は必ず返してくれます。

(参考:「致知」2025年5月号)

ワンポイント経営アドバイス

SCMは単独の部門や企業だけではできない

- 原材料の調達から最終顧客までのサプライチェーン全体を最適化する手法であるサプライチェーン・マネジメント(SCM)。ある半導体製造装置メーカーの場合、顧客である半導体製造装置メーカーの製造装置が故障すると顧客は24時間以内の修理を要求してくる。それが米国で発生し、必要部品が現地販社にないと日本の工場に注文することになる。
- だが工場は「操業時間外で注文を受けられない」と。しかも部品を通常の製品物流に乗せるので到着まで1週間かかる。そうすると顧客は離れてしまう。顧客が要求するサービスレベルに合わせた物流体制、在庫の配置になっていなかった。
- そこで、製品物流からサービス物流を切り離れた。工場は内陸だったので、空港近くにパーツセンターを設けて、在庫をたくさん積んだ。部品が必要になったら即応で世界中に届けられる体制をつくった。その結果、顧客から、サービス力がある会社として、推奨されるほどになった。

(参考:「週刊東洋経済」2025年2月22日・3月1日号)

人事労務について

抜擢と降格は社内にダイナミズムを生む

- ジャパネットホールディングス(長崎県佐世保市)は、社員を管理職に就ける際、原則として「代理」からスタートさせる。部長は部長代理、課長は課長代理という具合だ。能力と意欲のある社員を「代理」にして業務を任せ、役割を果たしながら成長してもらおうと考えたからだ。
- 代理職がある企業は珍しくないが、同社の運用は少しユニークだ。例えば、1つの部に部長か部長代理の一人しかおらず、部長代理は部長の役割を任される。だが、課題も出てきた。課長代理が課長に昇格できず、長期間、代理のままだ。
- そこで、2年前に対応策として代理の期間に上限を設けた。課長代理は3年、部長代理は4年の間に昇進の可否を判断し、かなわない場合は課長代理を一般職に、部長代理を課長に戻すようにした。元のポジションに戻るケースは6.7%ほどだという。抜擢と降格は、社内にダイナミズムを生む効果をもたらしている。

(参考:「日経ビジネス」2025年3月10日号)

古典に学ぶ

明日という日が来る保証は誰にもない

- 空海自身も子供の頃から、悟りを開いて人々を救いたいという志を立てていました。人生がいつ終わるのかはわからないという意味では、私達が生きる現代もまったく同じです。
- 明日という日が来る保証は、誰にもありません。だから、もし現状を変えたいと思うのなら、グズグズせず、今すぐ行動し始める必要があります。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)